

平成25年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

① あなたが受験している琉球大学は、琉球列島のほぼ中央に位置する沖縄島にある。琉球列島は、九州の南端から台湾に至る海域に長く連なる島々から構成されている。これらの島々は、フィリピン東方海上から日本に至る黒潮の流れに沿って点在し、この黒潮というベルトコンベアに乗って様々な生物が、南方から運ばれてくる。熱帯域から運ばれてきたそれらの生物が、九州以北の日本列島と琉球列島に流れ着いた場合、どのようになると考えられるか。具体的な生物をあげて説明しなさい。さらに、最近世界的な問題となっている地球の温暖化が、それらの現象に及ぼす影響について考察し、400字以上、600字以内で述べなさい。

② 2012年9月、国際自然保護連合（IUCN）から「Priceless or Worthless?」というタイトルの本が刊行された。現在地球上で絶滅の危機に瀕^{ひん}している100種類の生物を紹介した本である。著者の一人であるロンドン動物学協会の Jonathan Baillie 氏は、「これらの動物が地球上に存在し続けるか、永久に姿を消すかは、我々人類が守る価値があるか考えるかどうかにかかっている」と述べている。自然保護の必要性を議論する時、“Priceless（お金には換えられない貴重なもの）”か “Worthless（人類にとって価値のないもの）”かを天秤^{てんびん}にかけて判断することについて、あなたはどのように考えるか。自分の意見を400字以上、600字以内で述べなさい。

平成25年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

出題の意図

この小論文の出題の意図は以下の通りである。

- 1 多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に対する理解力と、生物学の知識、論理性、文章力に関する能力を評価する。
- 2 出題者の意図を理解し、自分の考えを論理的に整理して伝えられているかどうかを評価する。